

部品交換要領書

玄関ドア用 レバーハンドル

HHW12-011
2014年3月発行



作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、弊社は一切の責任を負いかねます。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

部品を正しく交換していただくために、本書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
同梱の取付ねじを最後までしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、作業用手袋などを着用し作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう養生などを行って作業をしてください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。
強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。

同梱されているもの

レバーハンドル	取付ねじ	交換要領書
 ・ HH-J-0678 ・ HH-J-0683 レバーハンドル：1 式	 化粧座取り付け用：2 本	 本書 1 枚

※部品が全てそろっていることを確認してください。

作業のために準備していただくもの

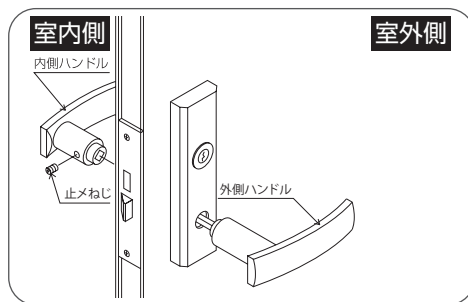
プラスドライバー
 + 1 本

部品の取りはずし方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 レバーハンドルの取りはずし



プラスドライバーで室内側ハンドルの止メねじをはずし、ハンドルをはずす。

2 化粧座の取りはずし



室内側からプラスドライバーで取付ねじをはずし、化粧座をはずす。

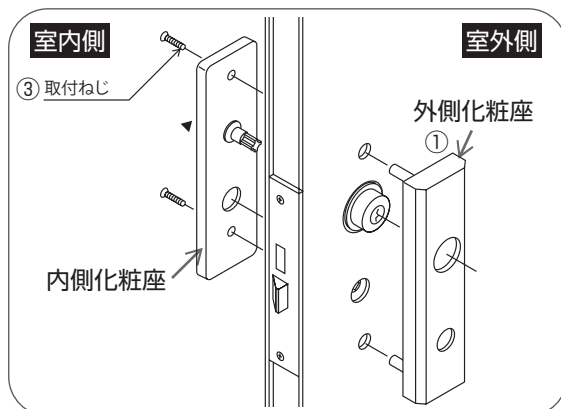
※部品の取り付け方は裏面をご覧ください。

部品の取り付け方

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

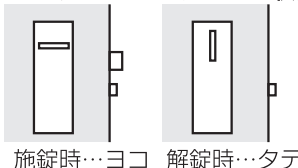
1 化粧座の仮止め



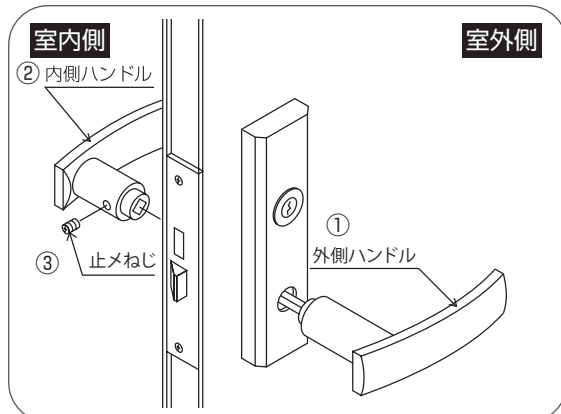
- ① 外側化粧座を室外側から差し込む。
- ② 内側化粧座のサムターンツマミを下図のように合わせる。
- ③ プラスドライバーで取付ねじを仮止めする。

②

サムターンツマミの正しい状態



2 レバーハンドルと化粧座の取り付け



- ① 室外側より、外側ハンドルをケースの角穴に合わせて差し込む。
- ② 内側ハンドルを外側ハンドルの各軸に差し込む。
- ③ プラスドライバーで止メねじを仮止めする。
- ④ ハンドルを数回作動させ、動きのよいところで化粧座の取付ねじ及びハンドル止メねじをプラスドライバーでしめる。

部品の交換後のチェック

お願い

交換した部品がしっかりと取り付けられていることを確認してください。



- ① 部品にガタつきがないことを確認してください。
- ② 取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。
- ③ ハンドルをまわしてドアを開閉し、開閉に支障がないことを確認してください。
サムターンをまわし、施解錠ができることを確認してください。
- ④ 取付ねじを強くしめると、施解錠が固くなる場合があります。その場合は取付ねじの締めつけをゆるめたりして調整してください。

※部品の取りはずし方は 1 ページ目をご覧ください。